

2021年4月1日
日 本 銀 行

日銀ネット国債系と香港ドル即時グロス決済システムとの間の
クロスボーダーDVP リンクの運用開始について

日本銀行では、決済リスク削減などの観点から、日銀ネット国債系と香港ドル即時グロス決済 (RTGS) システム¹との間のクロスボーダーDVP リンク²の構築に向けた対応を行ってきました。今般、所要の対応を終え、香港金融管理局とともに運用開始に特段の支障がないことを確認し、予定どおり2021年4月1日(木)に同DVP リンクにかかる業務の運用を開始しておりますので、お知らせします。

クロスボーダーDVP リンクは、日本国債を利用して直接外貨(本件においては、香港ドル)を調達する取引について、市場ストレス時においても、金融機関が安定的に外貨調達を行うことを決済の面から後押しする効果が期待されます。クロスボーダーDVP リンクの実現により、クロスカレンシー・レポ市場の厚みが増せば、資金調達手段の多様化に繋がるものと考えています。また、クロスボーダーDVP リンクにより、信用リスクのない中央銀行等の口座を用いた日本国債と外貨のDVP 決済が実現することを通じて、担保資産としての日本国債の有用性や利便性の向上にも資すると考えています。

以 上

¹ Hong Kong dollar Clearing House Automated Transfer System

² クロスボーダーDVP リンクは、異なる通貨建てで表示される証券と資金を交換する取引(例えば、クロスカレンシー・レポ)の決済において、資金の支払いが行われる場合にのみ証券が受渡されること(DVP)を確保するために、これらの証券・資金決済システムを運営する中央銀行等の間で、決済システムを直接接続するものです。